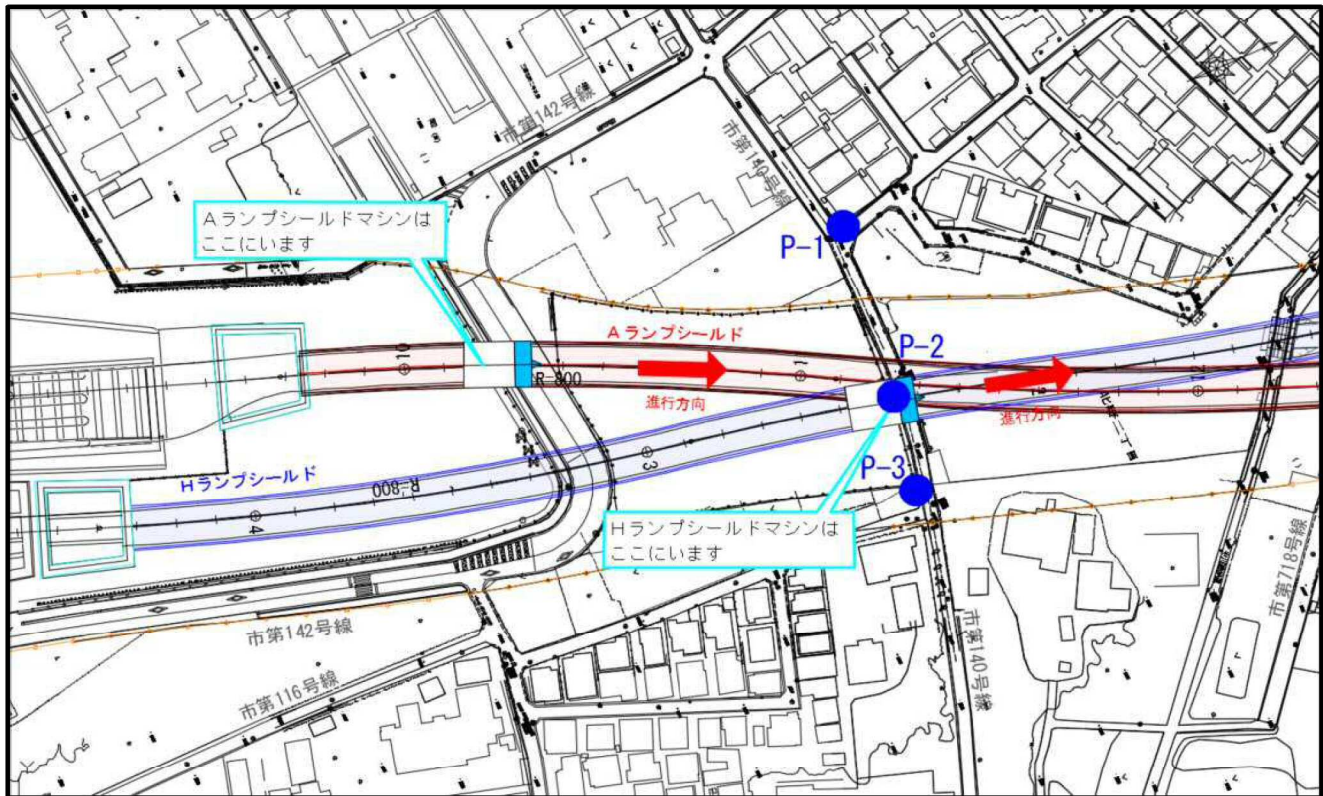


東京外かく環状道路 中央JCT A・Hランプシールド工事 振動・騒音計測結果のお知らせ

【8月 24日(水) シールドマシン位置】

● 振動・騒音計測点



【 8月 24日(水) 8:00~2:00 振動・騒音計測結果 】

	P-1			P-2			P-3		
	停止中 最大	掘進中 最大(昼)	掘進中 最大(夜)	停止中 最大	掘進中 最大(昼)	掘進中 最大(夜)	停止中 最大	掘進中 最大(昼)	掘進中 最大(夜)
振動レベル L10 (dB)	45	48	-	47	48	-	41	42	-
騒音レベル LA5 (dB)	66	68	-	67	65	-	72	70	-
低周波レベル L50(dB)	-	-	-	71	74	-	-	-	-
低周波レベル LG5(dB)	-	-	-	86	91	-	-	-	-

\*振動レベル、騒音レベル、低周波レベルの測定はシールドマシン通過時にその直上付近で実施しています。  
計測点はシールドマシン中心および影響範囲端部を基本とし、公道などで実施しています。

\*上表は、特異値(大型車両通過に伴う振動、緊急車両のサイレンなど)を除外した数値を示しています。

\*昼…19時まで 夜…19時以降

【振動レベルL10】 振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値をL10と表します。

【騒音レベルLA5】 騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から 5%目の値をLA5と表します。

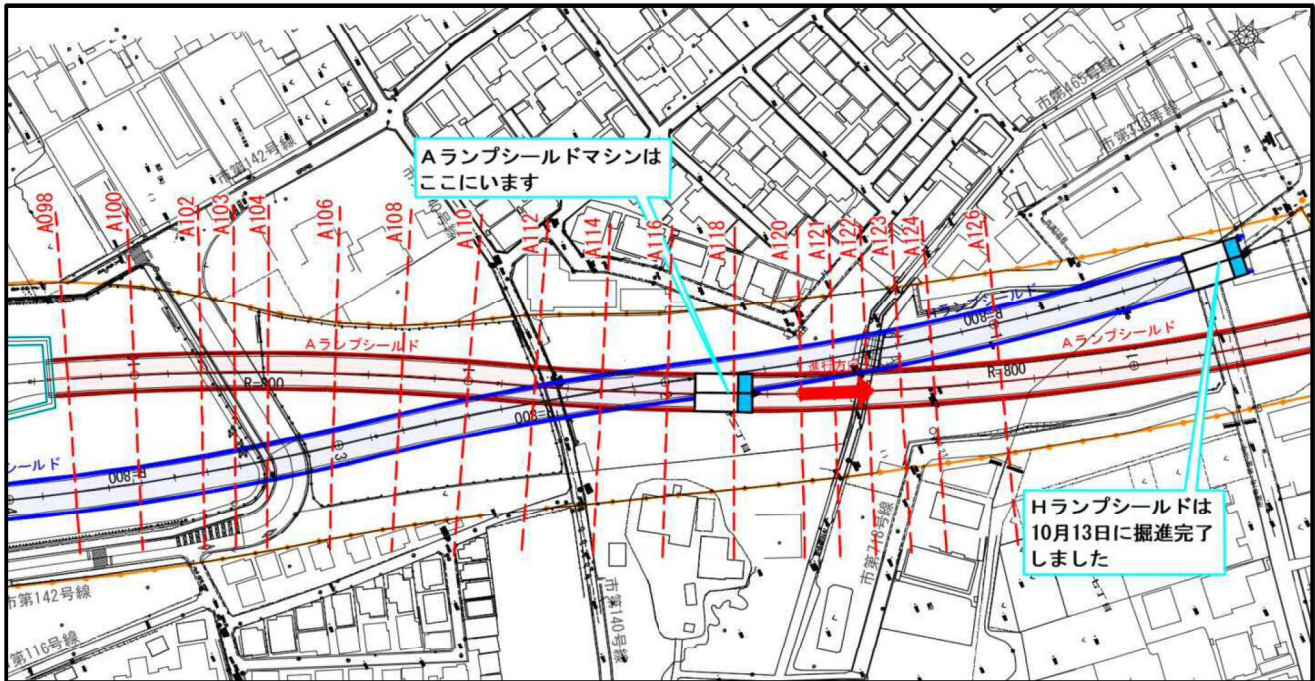
【低周波レベルL50】 1~80Hzの周波数範囲内をある時間測定したとき、全測定値の中央値をL50と表します。

【低周波レベルLG5】 1~20Hzの周波数範囲内をある時間測定したとき、全測定値の大きい方から 5%目の値をLG5と表します。

東京外かく環状道路 中央JCT北側 A・Hランプシールド 地表面計測結果のお知らせ

【 11月25日(金) のシールドマシン位置 】

--- 地表面計測



【 11月25日(金) 地表面計測結果 】

測線	基準値計測日	最大傾斜角 (rad)	最大鉛直変位 (mm)	測線	基準値計測日	最大傾斜角 (rad)	最大鉛直変位 (mm)
A098	令和4年2月25日	0.4/1,000	-2	A114	令和4年5月9日	0.4/1,000	+2
A100	令和4年2月25日	0.4/1,000	-4	A116	令和4年5月9日	0.2/1,000	+2
A102	令和4年2月28日	0.3/1,000	-4	A118	令和4年5月9日	0.2/1,000	+2
A103	令和4年2月28日	0.2/1,000	-2	A120	令和4年5月9日	0.2/1,000	+2
A104	令和4年2月28日	0.4/1,000	-3	A121	令和4年5月9日	0.1/1,000	+2
A106	令和4年2月25日	0.4/1,000	-3	A122	令和4年5月9日	0.4/1,000	-2
A108	令和4年2月25日	0.2/1,000	-2	A123	令和4年5月9日	0.0/1,000	+1
A110	令和4年2月25日	0.4/1,000	-2	A124	令和4年5月9日	0.4/1,000	-2
A112	令和4年2月25日	0.4/1,000	-2	A126	令和4年5月9日	0.2/1,000	-2

※Hランプシールドの地表面計測結果について、掘進完了から1ヶ月が経過した前回の計測において地表面変位が収束しているため、今回以降はAランプシールドの計測結果のみ表示します。なお、地表面のモニタリングは引き続き実施してまいります。

※最大傾斜角は、計測地点間の傾斜角の最大値を示しています

1/1,000rad(ラジアン)=0.057度  
幅 1メートルに対して 1ミリ沈下した場合の傾斜角

※家屋に影響を与えない地盤変位の目安は、地表面傾斜角1/1,000rad以下となります。「建築学会小規模建築物基準設計の手引き 1998年」の記載を参考に設定しています。